

留学記 ニイハオ!

アモイ
中国廈門市
その2

第19期 海外留学生
ひがま 比嘉 菜白



廈門に来て5カ月が経ち、一学期を無事に終えたことへの安心感と、残り半年で留学生活が終わってしまうことへの寂しさを感じております。この約半年で、中国国内旅行へ行きました。今回は、私が訪れた場所について紹介します。

まずは、廈門の離島コロンス島です。2017年に世界文化遺産に登録された小さな島で、廈門島からフェリーで20分程の距離です。18世紀頃には各国の領事館があつたため、島全体が異国情緒の街並みです。島内は車や電車、高いビルは無くゆつくりとした時間が流れており、廈門市内の雰囲気と全く違いました。島内は坂道が多いため大変ですが、日光岩の頂上まで登ると、コロンス島全体と廈門市内を見渡すことが出来ます。

10月には福建省友好都市研修に参加し、9日間で福建省の福州市、莆田市、泉州市、廈門市を訪れました。研修では福建省の各市と友好都市であるブラジルやタイ等計12カ国から15人が参加し、福建省の経済状況や、文化や歴史について学びました。福州市と廈門市は福建省の中で特に経済が発展している都市ですが、泉州市、莆田市は地下鉄がなく、隣の市でもこんなに差があるのかと驚きました。



莆田市の湄洲島



コロンス島



蟬埔文化村での簪花体験

研修では莆田市の離島湄洲島を訪れたこと、泉州市の蟬埔文化村では蟬埔伝統の簪花(花のかんざし)と漢服を体験できたことが楽しかったです!

上海、杭州にも行きました。初めて訪れた福建省以外の地域は、街の雰囲気や活気が全く違いました。さすがは大都市上海、全てが大きくて、外国人観光客も多く、日本語もチラホラ聞こえてきました。杭州は都会さもあつた、自然がいっぱいでとても綺麗な街でした。

旅行中は、中国に来た時より会話スキルが上っていることを実感し、とても嬉し

かったです。中国はとても広い分、地域によって言葉も違い、食べ物、風習も異なります。これからも色々な場所に出かけて、様々な文化風習を体験したいと思います。

また、廈門には、日本語を学ぶ中国の方は沢山いても、日本の方は少ないため、廈門で日本語を学びたい方と、日本で中国語を学びたい方に向けたオンライン交流会などを考えています。この素晴らしい留学制度の認知度向上に努め、これからも廈門と宜野湾市の友好関係に貢献していきます。



上海の外灘



杭州の西湖

令和7年度 中国・廈門市への留学生募集!

国際的視野を持った人材の育成を目的に、本市の海外友好都市である中国福建省廈門市にある廈門理工学院(大学)への派遣留学生を募集します。※感染症や自然災害等により、募集または派遣を延期もしくは中止することがあります。

【派遣人員】1人

【募集期間】2025年3月10日(月)~4月4日(金) ※土日祝日を除く

【選考試験】2025年4月20日(日)予定 〈作文および面接試験〉

※決定次第、市ホームページにてお知らせします。

【応募資格】①2025年4月1日現在において、

満18歳以上満40歳以下で高校卒業以上の学歴を有する者

②2024年4月1日から宜野湾市に住所を有する者

③日本国籍を有する者

④心身共に健康である者

【派遣先】中国福建省廈門市 廈門理工学院(大学)

【留学期間】2025年9月~2026年7月末頃

【留学費】①市の補助

学費全額、寮費の半額、往復旅費相当額等

②留学生負担

寮費の半額(年間約2.5万円)、生活費、保険に係る費用等

問 市民協働課 ☎893-4119

詳しくは
こちらから▶

